

教員免許状更新講習

趣旨 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、自然体験や集団宿泊体験等に必要な知識・技術の向上を図る。

企画運営のポイント

- ・冬期の野外教育活動に着目し、現場に役立つ講義内容と実習を含めた日程を計画した。
- ・感染症拡大防止の観点から、講師と協議した上で、一部の講義をオンラインによって実施する形式とした。

期日：令和3年1月12日（火）～1月14日（木）
会場：国立日高青少年自然の家
対象：令和2年度および令和3年度末が修了期限の教諭
人数：11名



一日目			12:00	受付	13:00	開講式	14:30	講義①	準備・休憩	15:00	実習①	18:00	食事・入浴	19:30	休憩	自由交流	21:30	就寝準備	22:00	就寝
							オンライン実施													
二日目	7:30	朝食	9:00	準備	10:00	講義②	16:00	実習②(昼食含む)	移動・休憩	16:30	講義③	18:00	食事・入浴	19:30	休憩	自由交流	21:30	就寝準備	22:00	就寝
三日目	7:30	朝食	9:00	準備	12:00	実習③	13:00	昼食	14:30	講義④	15:00	休憩	16:30	履修認定試験	閉講式					
									オンライン実施											

教育の課題に関する理解	1.5
体験活動に関する理解	2.5
体験活動に関する技能の習得	12.5
履修認定試験	1.5
合計	18 時間



スノーキャンドル作り



スキー初心者の児童を想定した指導法



オンラインでの講義

【成果】

- ・様々な校種の教諭が集まり、参加者にとって多様な視点での意見や気づき生まれ、「分かりやすく、体験活動を通して様々な指導技術を学ぶ良い機会となった」との声をいただき、よい交流の場ともなった。
- ・新型コロナウイルス対策への配慮に対して「感染症対策の配慮が感じられて安心して受講できた」等の声をいただいた。
- ・受講者は冬に特化した、スキー等の自然体験学習を行う際における指導法や安全管理について実践的な知識と技能を身に付けるよい機会となった。
- ・オンラインの活用によって、講師と直接的に画面を通して意見交流するなどの場面が生まれた。

【課題】

- ・試験終了が夕刻となり、帰宅する受講者にとってタイトな日程となってしまった。参加者の移動時間を考慮して、時間的なゆとりをもたせた日程を組む必要がある。